

大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ

Oita Information & Support Center

2025
Summer

No.25



大分県在留外国人人数

大分県の総人口は令和7年4月1日現在、1,076,955人。そのうち、県内在留外国人は19,860人（令和6年12月31日時点）です。市町村別では、別府市（5,364人）が最も多く、大分市（4,841人）、中津市（2,582人）、宇佐市（1,226人）、豊後高田市（1,025人）と続きます。

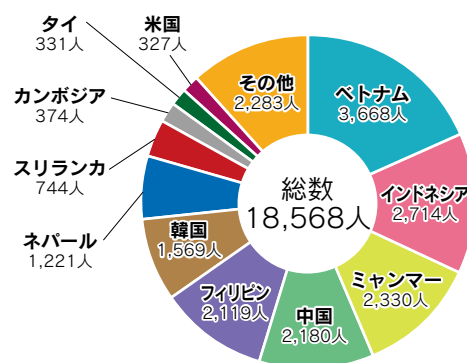
国籍別では、ベトナム（3,668人）が最も多く、次にインドネシア（2,714人）、ミャンマー（2,330人）と続きます。

在留資格別では、技能実習（5,396人）が最も多く、次いで留学（4,098人）、身分・地位に基づく在留資格（3,956人）、特定技能（2,259人）と続きます。

詳細は大分県ホームページの県内在留外国人人数について（<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2234555.pdf>）をご覧ください。

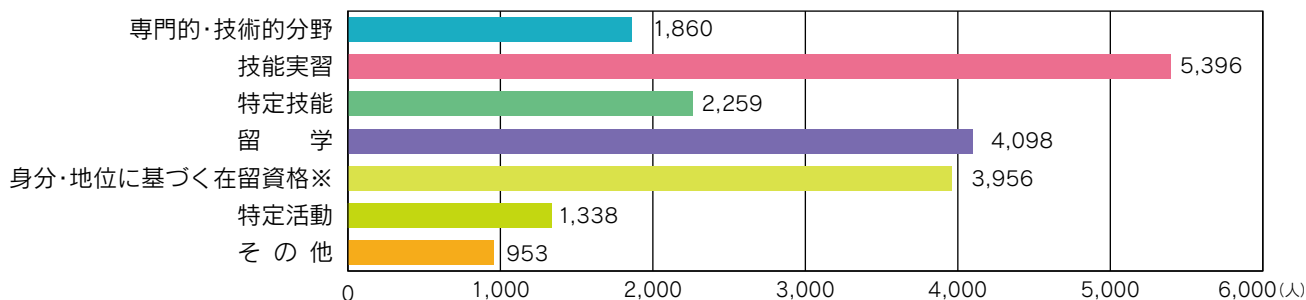
国籍別

令和6年12月31日時点



在留資格別

令和6年12月31日時点



※身分・地位に基づく在留資格…特別永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者、永住者

information

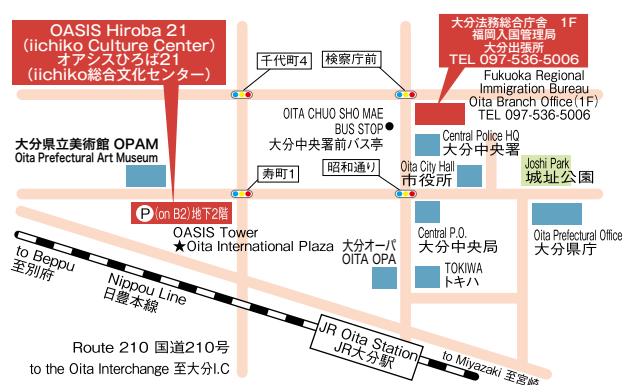
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
TEL 097-529-7119（相談センター）
TEL 097-533-4021（国際交流プラザ）
FAX 097-533-4052（相談センター・国際交流プラザ）
URL: <https://www.oitaplaza.jp/>（相談センター・国際交流プラザ）
E-mail: oisc@emo.or.jp（相談センター）
E-mail: in@emo.or.jp（国際交流プラザ）

時間 月～土（相談センター・国際交流プラザ）

10:00～17:00（相談センター）

9:30～18:00（国際交流プラザ）

※日曜、祝日、iichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです



大分県外国人総合相談センター相談件数・相談内容 (令和6年4月～令和7年3月)

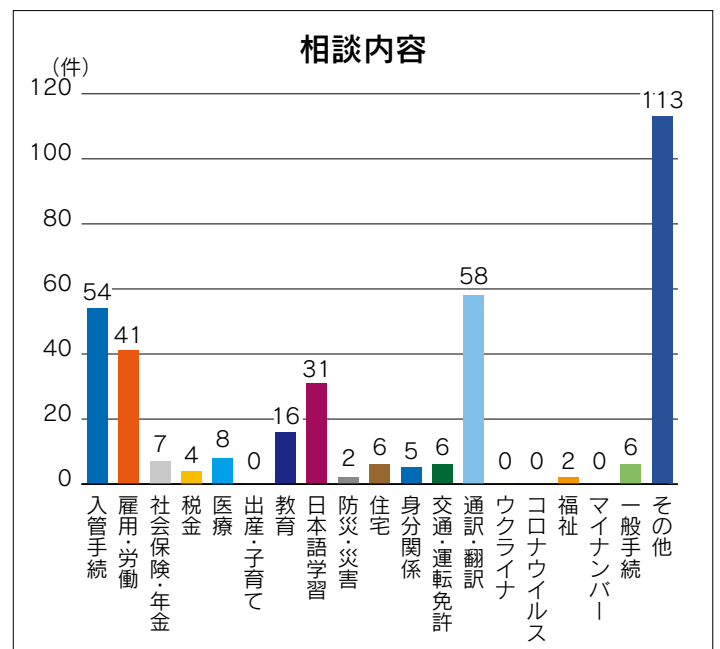
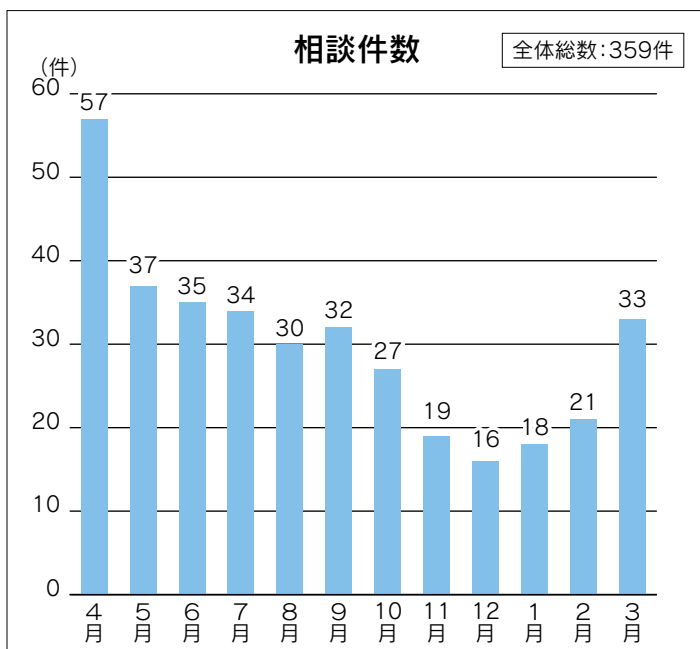
大分県外国人総合相談センターが令和6年4月～令和7年3月までに受けた相談件数と相談内容をまとめました。

令和6年度は全体の相談（359件）のうち、通訳・翻訳、入管手続、雇用・労働、日本語学習に関する相談が多くなっています。大分県内の外国人数は約2万人と過去最大人数となりました。今後、育成就労制度という新たな制度も開始予定ですので、さらなる外国人数の増加が予想されます。

今後とも様々な相談に対応できる相談センターの運営に取り組んでいきます。生活や仕事で困ったこと、心配なこと、分からないことがあれば大分県外国人総合相談センターに気軽にご相談ください。



相談室



専門家相談 タガログ語相談 中国語相談

※相談員の都合でお休みになることがあります。 ※詳細はHPでご確認ください。

▶ 専門家相談

- 日時 毎週土曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
- 相談員 外国人Life Support所属行政書士ほか ■費用 無料 ■申込 不要

事前の予約は必要ありませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので相談内容を予めセンターにお知らせください。

▶ タガログ語相談

- 日時 毎月第1土曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
- 相談員 タガログ語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

▶ 中国語相談

- 日時 毎月第2土曜日 13:00～16:00 ■場所 おおいた国際交流プラザ iichiko総合文化センター 地下1階
- 相談員 中国語相談員 ■費用 無料 ■申込 不要

相談事例



外国人です。来日6年目です。今後もずっと日本で生活する予定ですので、帰化を考えています。帰化許可申請をする場所と要件を教えてください。



帰化許可申請はお住まいを管轄する法務局または地方法務局で申請できます。帰化に求められる要件は、

(住所要件)

引き続き5年以上日本に住んでいること。

(能力要件)

18歳以上で本国の法律でも成人に達していること。

(素行要件)

素行が善良であること。素行が善良であるかどうかは、犯罪歴の有無・態様、納税状況、社会への迷惑の有無などを総合的に考慮し、社会通念に照らして判断します。

(生計要件)

収入に困窮することなく、日本で生活していけること。本人が無収入であっても、配偶者やその他の親族の資産・技能で生活できれば支障ありません。

(重国籍防止要件)

無国籍であるか、帰化によって本国の国籍を喪失することが必要です。外国人がその意思にかかわらず本国の国籍を喪失できない場合については帰化が許可される場合があります。

(憲法遵守要件)

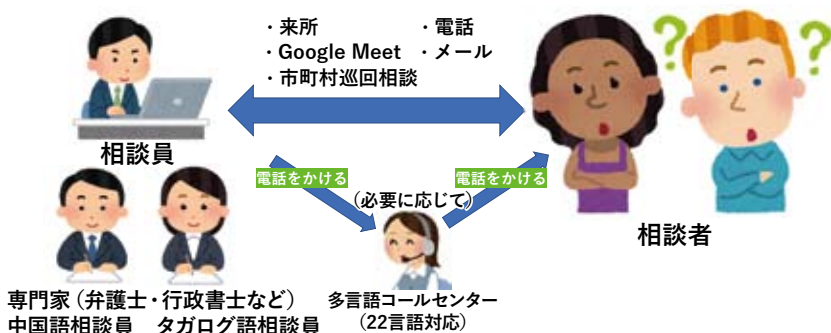
日本政府を暴力で破壊することを企て又は主張する者、あるいはそうした団体を結成又は加入している者は帰化が許可されません。

また、日常生活に支障のない程度の日本語能力（会話・読み書き）を有している必要があります。

上記の要件を満たしていても、必ず帰化が許可されるとは限りません。上記の要件は、日本に帰化するために必要最低限の内容とされています。



相談センター利用イメージ



大分県外国人総合相談センターでは、在留資格や生活の困りごとなど、在留外国人や関係者からの相談に多言語で対応しています。

利用方法については、HP、SNS等で確認して下さい。

HP



Facebook



X





国際理解講座

モンゴル・内モンゴル自治区編



5月10日にiichiko総合文化センター 映像小ホールにて、JICA九州と共催で「国際理解講座 モンゴル・内モンゴル自治区編」を開催しました。講師に渡邊了孔さん（JICAデスク大分 国際協力推進員、JICA海外協力隊OV）、坂本毅さん（砂漠緑化団体「オルドスの風」（有限会社バンベン）代表、JICA海外協力隊OV）の二人をお迎えし、48名の方にご参加いただきました。



講座はまず渡邊さんがJICAの事業について紹介したあと、「モンゴルを中から見てみたら」と題して、JICA海外協力隊として教育番組の制作

支援など視聴覚教育の職種でモンゴル国に派遣された渡邊さんの現地での活動の様子、揚げ・蒸し餃子などの伝統料理やゲルで生活する遊牧民の生活などの衣食住についてお話いただきました。

続いて坂本さんの講演「オルドスの地に緑を取り戻す」では、JICA海外協力隊で日本語教師として中国内モンゴル自治区オルドスにあるモンゴル族の高校に派遣された話から始まり、生徒たちとともに過ごした厳しくも楽しい現地での生活や、砂漠緑化の取組に挑戦しようと思ったきっかけなどを当時の思い出とともに話してくださいました。取組を始めるにあたり「植林は規模は小さくても継続性が重要」と考えた坂本さんは、モンゴルの特産物である塩を売って得た収益の一部を活用しようと2004年に会社を設立し、「塩を売って緑を買う」活動を始めました。植林を始めて10年後には、東京ドーム150個分の面積を緑化することに成功、現在は緑化した土地を活用した高付加価値農業の確立に挑戦しています。昨年はUAEの依頼により砂漠緑化の調査・実験を行うなど、環境と経済の好循環「オルドス・モデル」での活動が世界へ広がっている現状を説明しました。

参加者からは「現地での生活や活動の話がとても興味深かった」「一時的なものではなく継続して活動することの大切さがわかった」などの感想が多く寄せられ、世界のために協力できることを考える機会となったようです。



国際理解講座

韓国編（予告）



おおいた国際交流プラザでは、今年度着任した大分県の国際交流員（CIR）の安秀榮（アン・スヨン）さんを講師にお招きし、「国際理解講座 韓国編」を開催します！

日時：9月13日（土）14:00～

場所：iichiko総合文化センター 地下1階 映像小ホール ※詳細は決まり次第、プラザHP等でお知らせします。

大分県国際交流員着任あいさつ

アンニョンハセヨ（こんにちは）！

今年の4月から大分県庁国際政策課で国際交流員として勤務することになりましたアン・スヨンと申します。私は、朝鮮時代に建てられた華城（ファソン）が有名な韓国の水原（スウォン）出身です。自然に恵まれた“おんせん県”大分で働けることをとても嬉しく思っています。立命館アジア太平洋大学（APU）で学ぶために3年前に来日し、今年で4年目を迎えました。

国際交流員として、韓国と日本だけでなく、世界と日本を繋ぐ架け橋になりたいと願っています。私が日本語を学び始めた理由は、日本の方とのご縁を結び、心から理解し合いたいと思ったからです。これからも「アン・スヨン」という存在を通して、日本と世界の皆さんが韓国をより深く理解し、愛してもらえるよう努めてまいります。故郷のように温かい大分で働く日々を、今から楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします！

安 秀榮
(アン・スヨン)



金 函宇
(キン・カンウ)



皆さん、初めまして。

今年度から国際交流員として大分県庁で働くことになりました、金と申します。中国の中東部に位置する河南省出身で、大学時代を武漢、北京で過ごし、交換留学生として山梨県甲府市で生活していました。

私は大学時代から日本語を勉強し始め、日本について深く学べば学ぶほど好きになり、「もっと知りたい、もっと知ってもらいたい！」と、異文化交流の場に立ち会うたびに強く感じます。

「めぐりあい」を大切にしている私は、今回大分で夢だった仕事ができるようになったのは、きっと素敵なお縁があったからだと思います。自分の目と心で日本をもっと理解し、そして中国のことを知ってもらえたらいいな！とやる気満々です。

お互いを尊重し合う気持ちが国際交流において大事だと考えています。不慣れなことがたくさんあると思いますが、失敗を恐れず頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします！

It's a pleasure to meet you! (初めまして！)

イギリスのロンドン南東部にあるダルウィッチ・ビレッジ（Dulwich Village）という街から参りましたブーテル・ローザと申します。私は中学校の終盤から日本語を勉強し始めて、現在約10年が経ちました。大学時代はマンチェスター大学の日本語・日本研究科で三年間と慶応義塾大学で一年間の交換留学を経験致しました。また、日本語以外ではケーキ作りと食文化に大変興味を持っており、料理教室でパティスリーのコースを受けたり、食文化の研究をしたりしています。実は大学の卒論でも日本のパン文化を研究する内容でした！

多様性あふれるロンドンでの生活と交換留学での経験を生かして、イギリスと日本の架け橋のような存在になりたいです。そして、コミュニティにいる日本人と外国人が交流できる機会をたくさん作りたいという気持ちで満ちています。つきましては、フリートークや文化講座などで皆さんとお互いの文化と言語を知り合えたら幸いです。何卒よろしくお願いいたします！

Rosa Boutelle
(ブーテル・ローザ)



大分県海外戦略に基づく多文化共生の取り組み

海外戦略の策定

県では、海外施策の取り組むべき方向性を示す羅針盤として、海外戦略を策定しています。今年3月に、これまでの成果や本県を取り巻く情勢の変化を的確に捉え、新たに「大分県海外戦略(2025～2027)」を策定しました。

「世界から選ばれるおおいた」を基本目標として、「海外の成長市場を取り込む」、「外国人材の活躍促進」、「多文化共生社会の実現」、「国際交流とグローバル人材の育成・活用」の4つの戦略で構成しています。



多文化共生施策

県内に住む外国人数は令和6年12月末で約2万人と過去最高を記録しました。在留資格制度の見直し等により、今後さらに増加が予想される中、外国人住民が安心して暮らし、地域社会の一員として活躍できる地域づくりがますます重要になります。

県では、多文化共生を推進し、外国人材から選ばれる大分県を実現するため、海外戦略に基づき、以下のような取り組みを進めます。

●多文化共生モデルの構築

外国人住民に対する地域生活におけるルール・マナー指導や、地域・企業の理解促進に向けた交流イベントなどを行う外国人支援団体を伴走支援することで、地域における外国人支援モデルを構築します。外国人が安心して暮らすことができる環境を整備することで、さらなる人材の呼び込みを図ります。

●コミュニケーション支援

外国人住民が地域住民と円滑にコミュニケーションできるよう、日本語教育体制の拡充を図っています。地域日本語教室で日本語指導を行うボランティア向けにスキルアップ研修を行うほか、日本語教室がない地域でも日本語学習ができるよう、オンライン教室を開講します。



日本語教室・日本語ボランティア研修
初級3回目(令和6年7月28日)

●留学生の活躍支援と県内定着促進

本県の人口当たり留学生数は全国トップクラスです。優秀な留学生の就職・起業支援により県内定着を促進し、県内産業の発展につなげます。

県内イベント案内

※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。

Festivals and Events



【鑑賞支援つき】意外性の取組ここに開幕 新・感・賞コンサート ～相模をテーマに作曲された音楽を西洋楽器で奏でます～

相模と西洋楽器が交差する"聞く総合芸術"

日時／7月22日(火)14:00

会場／iichiko音の泉ホール

料金／500円 ※2歳から入場可

※介添者1名無料

出演／日本相模間芸術作曲家協議会

ジャクシヤ
[JACSJA] (鶴見幸代、野村 誠、樺山智子)
(ピアノ、鍵盤ハーモニカほか)
笠口和実(ヴァイオリン)

iichiko presents 上野耕平×山中惇史×石若駿

音楽界の若きトップランナーが集結！

日時／8月11日(月・祝)14:00

会場／iichikoグランシアタ

料金／(全席指定)

A席4,000円、B席3,000円、

U25割 各席半額

出演／上野耕平(サクソフォン)、
山中惇史(ピアノ/作曲・編曲)、
石若 駿(ドラム/パーカッション/作曲)

語りと音楽でつづる 宣教医アルメイダ～西洋医術の伝来～

音楽劇で辿る、宣教医アルメイダの生涯

日時／9月6日(土)14:00

会場／iichiko音の泉ホール

料金／(全席指定)S席4,000円、

A席3,000円、B席2,000円、

U25割 各席半額

考案・構成・音楽監督・リコーダー／
濱田芳通
出演／濱田芳通&アントネッロ

生誕140年 YUMEJI展 大正浪漫と新しい世界

竹久夢二の生誕140年を記念した最大規模の回顧展

開催期間／7月6日(日)～8月17日(日)

会場／大分県立美術館 3階 展示室B

観覧料／一般 1,400(1,200)円、高校・大学生 1,200(1,000)円

※中学生以下は無料

※()内は前売および有料入場20名以上の団体料金

チームラボ 学ぶ! 未来の遊園地と、花と共に生きる動物たち

世界1500万人が体験した遊んで学べる展覧会！

開催期間／7月19日(土)～9月14日(日)

会場／大分県立美術館 1階 展示室A

観覧料／平日入場券

大人：1,800円、中高生：1,300円、

子ども(3歳以上)：800円

休日入場券(土日祝・お盆時期8月12日 - 8月15日)

大人：2,000円、中高生：1,500円、

子ども(3歳以上)：1,000円



JICAデスク 大分からこんにちは! //

JICAでは、次の世代を担う中学生・高校生を対象に、JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテストを実施しています。2024年度は「未来の地球のために～私たちにできること～」をテーマとして、全国から総数36,202作品のご応募をいただきました。

厳正なる審査の結果、大分県からはJICA九州センター所長賞2名、特別学校賞1校の受賞がありました。

中学生の部で、九州センター所長賞を受賞した工藤京志郎さん(学校法人平松学園 向陽中学校)は、「知ることで変わる未来～アフリカの子どもたちの現状～」と題し、新聞でアフリカの子供の学習環境が十分に整っていないことを知り衝撃を受け、現状を調べ、自分にできることを実行に移した様子を綴りました。

特別学校賞を受賞した、学校法人平松学園 向陽中学校は、1年生の夏休みの課題として本コンテストへの応募を続け、



向陽中学校での表彰状授与

2024年度で19年目を迎えました。2025年3月17日に同校にて表彰式を行い、生徒代表の池田朔弥さんと、寺田桃夏さんが表彰状と盾を受け取りました。

高校生の部で、九州センター所長賞を受賞した安庭美夢音さ

ん(大分県立中津南高等学校)は、「ファッションの在り方」と題し、ファストファッションから世界の現状を知り、自分が着ている服の行く末とその活用についての考えを綴っています。2025年3月7日に、中津南高等学校で表彰状の授与を行いました。



中津南高等学校での表彰状授与
(写真中央が安庭美夢音さん)

本コンテストの募集最終年となる2025年度のテーマは、「世界の幸せのために私たちができること～未来へつなげるために～」です。募集期間は、2025年6月6日(金)～2025年9月17日(水)です。開発途上国の現状や日本との関係について理解を深め、国際社会の中で一人ひとりがどのように行動すべきかを考える機会となります。是非ご応募ください。



JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター(B1F) おおいた国際交流プラザ内
担当：JICA九州・大分県国際協力推進員 渡邊
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

県国際交流員（CIR）が出身国の文化や日常生活について母国語で紹介し、楽しみながら言語に触れることを目的としています。

イギリス、韓国、中国出身のネイティブと交流してみませんか。（各週で1言語）

日時 金曜日 13:30～15:00

定員 各10名



●語学講座

言語を学びながらその国の魅力に触れてみませんか。興味のある方はぜひご参加ください。

対象言語：インドネシア語、ベトナム語、イタリア語

定員 各10名



●通訳・翻訳ボランティア

おおいた国際交流プラザには、英語・中国語・韓国語・ドイツ語・イタリア語・フランス語・ロシア語・タガログ語・スペイン語・ベトナム語・インドネシア語・タイ語・アラビア語・ヒンドゥー語・ウルドゥー語・ミャンマー語・マレー語の通訳・翻訳ボランティアが登録しています。

語学力を活かして、在留外国人のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語を母語としない方に日本語を教えるボランティアです。

登録希望者は、おおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードしご記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。

●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます（5か国語）
ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本で生活で知っておきたい情報を紹介しています。

日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20～11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30～20:30

連絡先 090-7169-4466 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15～12:00

連絡先 097-528-1865 川野

▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 毎週水 14:00～15:30

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00～11:30

③場 所 大分中央公民館（大分市） ※こども日本語教室

日 時 毎週土 14:00～15:30

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語らくらくトーク

①場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00～15:30

②場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週水 13:00～15:00（初級）

毎週水 15:00～17:00（中級）

連絡先 0977-21-1131 別府市文化国際課

▶Beppu Japanese Conversation Class

場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週日 10:00～12:00

初級から中級まで

連絡先 070-6595-4466 神（こう）

県内には、このほかにも日本語教室が開設されています。
詳しくはQRコードからご確認ください。

